

バレエを学ぼう！

～舞台芸術に興味のある方へ。オンライン講座のご案内～

バレエ？女の子のものでしょう？オペラ？高いだけじゃない？・・・日本ではこのような認識の方は多いと思います。

それは半分正解であって半分誤解があります。

舞台芸術は演者だけで成り立つものではなく、その一部を切り取って「こうだ」と決めつけるのは勿体無い話。

踊りや歌だけでなく音楽も、衣裳デザインや装飾美術、そして文学が題材になっている壮大な舞台芸術はどの分野が欠けても成立しない組織と同じ。皆が役割分担で作り上げる総合芸術です。

バレエを知ることは、決してバレエを知ること「だけ」ではないのです。

その奥に広がる舞台芸術の世界は伝統と歴史の詰まった、そして芸術家たちの創意工夫の化学反応が常に起こっている現場。古い伝統を守りながらも常に進化し続ける劇場は、人と芸術を繋ぐ場所でありそれ自体が芸術作品でもあります。生活がどんどん変わる中、舞台芸術のあり方も変容しています。

しかし時代が変化しても女の子を魅了してやまない、そして老若男女問わず世界中にファンがいるバレエって一体どういうものなのか。ポリショイ劇場のバックステージを案内し続けてきた元バレエダンサーが、ロシアの舞台の今をお伝えします。

バレエを習われている方へ

バレエは身体芸術であり、音楽、舞台装飾、デザイン、照明技術、文学、哲学など様々な芸術分野が一つになった総合芸術です。ダンサーは表舞台の顔ではありますが、舞台はダンサーだけでは成り立たない多面的なものなのです。

技術力アップを目指す目の前の練習に加え全体を見渡す目を養う機会があると、作品理解が深まり自分で考える力がつき、表現力が豊かになります。踊ることだけではなく踊りの背景・時代・場面を学び考え想像することで、手の動かし方や立ち振る舞いが変わってくるのは自然な流れです。

自分が習っているバレエって一体どんなものなのだろう？先ずはその基礎に立ち戻りって知る機会を持つことは、豊かな時間を形成していく基礎力となります。点と点が線になっていく時に、子供も大人も喜びを感じるものです。

その1点となる楽しく学ぶ機会をご提案します。

【講座内容】

1) バレエの歴史 編

バレエの誕生から現代に至るまで、絵画や歴史、また芸術全般の流れと共に追っていきます。

- ・バレエの成り立ちや歴史の流れを学びたい
- ・絵画や芸術全般にも興味がある
- ・バレエの実技ではない教育の1つの項目として

2) ポリショイ劇場パーチャルバックステージツアー「劇場とは？」+日本とロシアの比較 編

舞台が守られている劇場ってどんなところ？写真を使い歴史や逸話を織り交ぜながら解説します。

- ・ポリショイ劇場を知りたい。劇場という場所に興味がある
- ・ロシアのバレエやバレエ学校のことを知りたい
- ・日本とロシアとの認識の違いはどこから来るのか、など

【講座詳細】

- 対象年齢：小学生以上
- 時間：各講義 50分+質疑応答（約1時間～1時間10分）
- 料金
 - ・1項目のみ 1500円/1人あたり 兄弟・姉妹/親子で参加の場合2人目以降半額。1グループ5人より開催可。
 - ・2項目一括の場合 2700円/1人あたり *ご希望日に合わせてアレンジ致します。月に1回 or 2週連続など要相談
- デバイス

Zoomを使用します。パソコンやスマホなどをご用意の上Zoomが使用可能な状態にセットして下さい。

事前の配布資料はありません。必要な場合はノートなどをご用意下さい（任意）



*絵画や美術史、また映像を織り交ぜながらバレエの歴史を展開し、ポリショイ劇場の資料も使用します



山本萌生プロフィール Mavita Ltd,代表 劇場コーディネーター /モスクワ在住

1997年15歳でポリショイバレエ学校留学。在学中の怪我・手術を克服し卒業後熊川哲也主宰Kバレエカンパニーに入団。退団後高等学校卒業程度認定試験を取得、2007年同志社大学文学部美術芸術学科入学。同大学卒業後丸紅株式会社ロシア支店に役員秘書として入社。2012年モスクワにて有限会社Mavitaを設立し、観劇とは違う角度から劇場芸術を日本人へ紹介する“ポリショイ劇場バックステージツアー”の案内を始める。同ツアーは2012年より現在まで3000人以上のガイド実績を持ち大好評。2016年ポリショイ劇場美術館館長より全権委任され【ポリショイ劇場芸術展《The Art of the Bolshoi theater》Exhibition in Japan】プロデュース/プランナーとなる。日経新聞社主催決定。ダンサー時代の怪我・手術・リハビリの経験をもとに、「自分の身体と向き合う」を趣旨とした、子ども・大人向けのバレエレッスン、ストレッチなど個別指導も行う。『バレエは自分を知る媒体』がモットー。身体芸術ありきのバレエは舞台の一部に過ぎず、日本でのバレエ教育に実技だけではなく総合芸術として多面的な「バレエ」を取り入れていくべく、ポリショイ劇場美術館協力のもとモスクワと日本で活動中。

詳細は以下を参照。ホームページ <http://mavita12.com> お問い合わせ：mavita.moeha.yamamoto@gmail.com